

(2024年4月1日から2024年9月30日)

第161期 中間報告書

TOKUYAMA 



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年度上期の売上高は、半導体市場の緩やかな回復局面を迎え、半導体関連製品の堅調な販売により電子先端材料では増収の一方で、(株)エクセルシャノンの連結除外の影響により、前年同期比0.3%減少し、1,655億円となりました。営業利益は、物流コストの増加や将来の成長に向けた研究開発費の増加があるものの、製造コストの低減に努め、前年同期比62.8%増の139億円となりました。また、資本コストを意識した経営にむけて政策保有株の縮減を進め、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比86.9%増の116億円となりました。

当社グループは、「中期経営計画2025」に掲げた成長事業に注力することにより、事業ポートフォリオの転換を加速させています。24年8月には、電子分野において、ベトナムに半導体用多結晶シリコンの製品化を担う製造販売子会社 TOKUYAMA VIETNAM CO., LTD. を設立しました。健康分野では、歯科器材の出荷が堅調であることから、(株)トクヤマデンタルの鹿島工場でのスマートファクトリー化を導入した、能力増強を着実に進めております。

2024年度通期の業績予想は、世界情勢の変化に伴う原燃料価格や為替等の先行きに不透明感はありますが、半導体市場の一定の回復を見込み、期初公表値である売上高3,520億円、営業利益330億円を据え置きました。中間配当は、予定どおり50円で実施いたします。期末配当も50円とし、年間で100円を予定しております。

今後も「中期経営計画2025」の目標達成にむけ、重点課題に取り組み、持続可能な価値創造型企業として成長してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

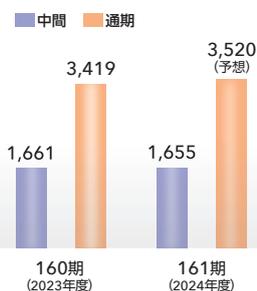


2024年12月

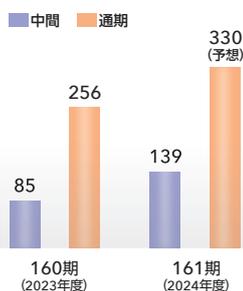
株式会社トクヤマ
代表取締役
社長執行役員

横田 浩

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益 (億円)





化成品

売上高 **572億 99百万円** (前年同期比**2.7%**増)

売上高・営業利益の推移

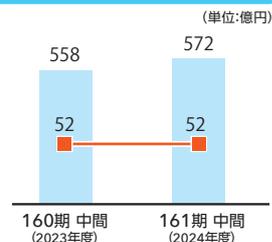


苛性ソーダは、国内の販売数量は前年同期並みだったものの、輸出数量の増加等により増益となりました。

塩化ビニルモノマー及び塩化ビニル樹脂は、国内の販売数量が低調に推移したこと、及び製造コストの増加等により、減益となりました。

ソーダ灰は、販売数量が減少したこと等により、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は572億99百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は52億65百万円(前年同期比0.2%増)で増収増益となりました。



セメント

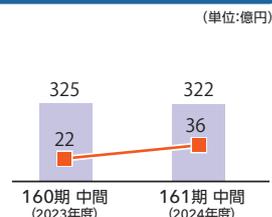
売上高 **322億 74百万円** (前年同期比**0.9%**減)

売上高・営業利益の推移



セメントは、国内出荷は前年同期比で微減となったものの、販売価格の維持や製造コストの改善に努めたこと等により、増益となりました。

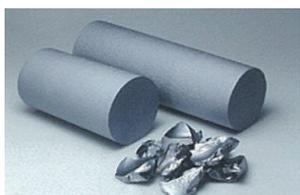
以上の結果、当セグメントの売上高は322億74百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は36億85百万円(前年同期比62.9%増)で減収増益となりました。



電子先端材料

売上高 **397億 65百万円** (前年同期比**10.7%**増)

売上高・営業利益の推移



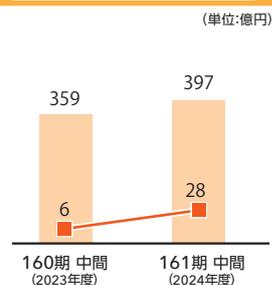
半導体向け多結晶シリコンは、販売数量が増加したこと等により、増益となりました。

ICケミカルは、台塑徳山精密化学股份有限公司の稼働率の向上等により、収益が改善しました。

乾式シリカは、中国景気の低迷の継続等により販売数量は低調に推移したものの、円安による為替の影響や製造コスト削減等により、増益となりました。

放熱材は、海外向けの販売数量が堅調に推移したこと等により、前年同期並みの業績となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は397億65百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益は28億99百万円(前年同期比363.8%増)で増収増益となりました。



ライフサイエンス

売上高 **200億 5百万円** (前年同期比**1.6%**減)

売上高・営業利益の推移

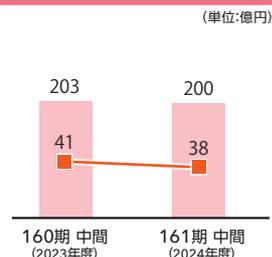


歯科器材は、海外向けの出荷が増加したこと、及び円安による為替の影響等により、増益となりました。

医療診断システムは、臨床検査情報システム及び検体検査自動化システムの販売が減少したこと等により、減益となりました。

医薬品原薬・中間体は、ジェネリック医薬品向けの販売数量が減少したことにより、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は200億5百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は38億73百万円(前年同期比6.3%減)で減収減益となりました。



環境事業

売上高 **19億 45百万円** (前年同期比**55.2%**減)

売上高・営業利益の推移

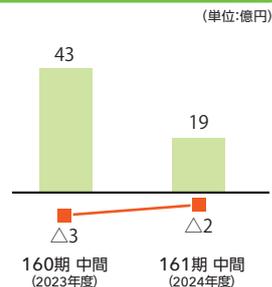


イオン交換膜は、出荷が減少したことにより、減益となりました。

廃石膏ボードリサイクルは、廃石膏ボード収集が堅調に推移したことにより、前年同期並みの業績となりました。

樹脂サッシの製造・加工・販売を行う株式会社エクセルシャノンの株式の一部を譲渡したことに伴い、前中間連結会計期間より、同社を連結の範囲から除外しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は19億45百万円(前年同期比55.2%減)、営業損失は2億20百万円(前年同期は営業損失3億7百万円)となりました。





▶▶▶ 連結貸借対照表

(百万円)

科目	前連結 会計年度	当中間 連結会計期間
	2024年3月31日	2024年9月30日
資産の部		
流動資産	217,776	222,504
固定資産	239,583	240,273
資産合計	457,360	462,778
負債の部		
流動負債	103,935	84,147
固定負債	93,475	112,231
負債合計	197,411	196,378
純資産の部		
株主資本	229,944	238,162
その他包括利益累計額	19,312	15,793
非支配株主持分	10,691	12,444
純資産合計	259,948	266,400
負債純資産合計	457,360	462,778

▶▶▶ 連結損益計算書

(百万円)

科目	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間
	自2023年4月1日 至2023年9月30日	自2024年4月1日 至2024年9月30日
売上高	166,105	165,538
売上原価	120,704	113,172
売上総利益	45,401	52,366
販売費及び一般管理費	36,824	38,407
営業利益	8,576	13,958
営業外収益	3,122	2,722
営業外費用	2,736	3,075
経常利益	8,962	13,606
特別利益	703	3,615
特別損失	227	419
税金等調整前中間純利益	9,438	16,802
法人税等	3,314	5,397
中間純利益	6,123	11,404
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△104	△236
親会社株主に帰属する中間純利益	6,228	11,641

▶▶▶ 連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
	自2023年4月1日 至2023年9月30日	自2024年4月1日 至2024年9月30日
営業活動によるキャッシュフロー	38,671	26,370
投資活動によるキャッシュフロー	△14,255	△11,177
財務活動によるキャッシュフロー	△31,937	2,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,240	△796
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,280	16,873
現金及び現金同等物の期首残高	67,556	47,905
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減(△は減少)	△27	—
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	0	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	61,249	64,779

TOPICS

2024.7.11▶▶▶

FTSE Blossom Japan Indexに初選定

環境・社会・ガバナンス(ESG)対応に優れた日本企業を選定する



FTSE Blossom Japan Index

FTSE Blossom Japan Indexの構成銘柄に初選定されました。中期経営計画2025の重点課題である「地球温暖化防止への貢献」や「CSR経営の推進」への取り組みが評価されました。

2024.8.8▶▶▶

トクヤマベトナムを設立

ベトナムに半導体用多結晶シリコンの最終工程を担う製造販売子会社として、当社100%出資により、TOKUYAMA VIETNAM



CO.,LTD.を設立しました。多結晶シリコンの安定供給の実現により、先端半導体のサプライチェーンの強靱化に貢献してまいります。



会社概要

商号	株式会社トクヤマ (英文表記: Tokuyama Corporation)
創立	1918年2月16日
本社	〒745-8648 山口県周南市御影町1-1 TEL.0834-34-2000
資本金	100億円
ホームページ	https://www.tokuyama.co.jp/

役員体制

取締役	代表取締役	横田 浩	化成品、セメント、電子先端材料、監査 担当
		杉村 英男	総務人事、購買・物流、秘書、デジタル統括 担当
	取締役	岩崎 史哲	ライフサイエンス、ニュービジネス、研究開発、鹿島工場 環境安全、 先進技術事業化センター 担当
		井上 智弘	経営企画、CSR、環境事業、徳山製造所、カーボンニュートラル戦略 担当
	取締役監査等委員	宮本 陽司	監査等委員長
		河盛 裕三	社外取締役
		水本 伸子	社外取締役
		石塚 啓	社外取締役
		近藤 直生	社外取締役
執行役員	社長執行役員	横田 浩	
	専務執行役員	杉村 英男	社長補佐
		岩崎 史哲	研究開発本部長 兼 ライフサイエンス部門長
	常務執行役員	谷口 隆英	セメント部門長
		西原 浩孝	化成品部門長
		井上 智弘	経営企画本部長
		奥野 康	徳山製造所長
		長瀬 克己	電子先端材料統括本部長 兼 先端材料部門長 兼 ニュービジネス本部長
	執行役員	藤本 浩	購買・物流部門長
		田村 直樹	環境事業部門長
		佐藤 卓志	総務人事部門長
		関 道子	CSR推進本部長
		坂 健司	デジタル統括本部長 兼 DX推進グループリーダー
		伊藤 剛史	経営企画本部 副本部長
		寺西 誠治	電子材料部門長 兼 シリコン営業部長
		井上 裕司	カーボンニュートラル戦略本部長
		内田 悦史	エンジニアリングセンター所長

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL(https://www.tokuyama.co.jp/)
定時株主総会	6月	上場取引所	東京証券取引所 プライム市場
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日	証券コード	4043
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 [郵便物送付先] 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 [電話照会先]0120-232-711 (通話料無料)		

「株主総会資料」書面をご希望の場合は、お手続きが必要です。

株主総会資料の電子提供制度が開始されたことに伴い、2025年の当社株主総会資料を書面でお受け取りをご希望される場合は、2025年3月31日までにお取引のある証券会社又は上記株主名簿管理人を通じて、「書面交付請求」のお手続きをお取りいただく必要があります。

株式会社トクヤマ

<https://www.tokuyama.co.jp/> 〒745-8648 山口県周南市御影町1-1

お問い合わせ等がございましたら、下記の番号にご連絡ください。

TEL 0834-34-2000 (総務グループダイヤルイン)